

教 育 委 員 会 会 議 録

令和 7 年 1 0 月 定 例 教 育 委 員 会								
開 会 日	令和 7 年 1 0 月 2 8 日 (火)							
開 会 時 間	午後 2 時 3 0 分～午後 2 時 5 0 分							
開 会 場 所	佐賀市大財別館 4 - 3 会議室							
出 席 者	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">教 育 長</td> <td style="text-align: center;">丹宗教育長</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">教 育 委 員</td> <td style="text-align: center;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">堤 委員 山田委員</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">鳥飼委員 槇原委員</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">長崎委員</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	教 育 長	丹宗教育長	教 育 委 員	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">堤 委員 山田委員</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">鳥飼委員 槇原委員</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">長崎委員</td> </tr> </table>	堤 委員 山田委員	鳥飼委員 槇原委員	長崎委員
	教 育 長	丹宗教育長						
	教 育 委 員	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">堤 委員 山田委員</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">鳥飼委員 槇原委員</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">長崎委員</td> </tr> </table>	堤 委員 山田委員	鳥飼委員 槇原委員	長崎委員			
堤 委員 山田委員	鳥飼委員 槇原委員	長崎委員						
事 務 局	豊田教育部長 横田教育部副部長兼教育総務課長 淵上教育部副理事 兼学校教育課長 川副学事課長 北御門社会教育課長 増本図書館副 館長 筒井教育総務課副課長兼総務係長 江口教育総務課主幹兼教育 政策係長							
提 出 議 案	第 1 9 号議案 佐賀市社会教育委員の委嘱について 第 2 0 号議案 令和 7 年度「佐賀市教育委員会感謝状」被贈呈者について							
協 議 事 項	な し							
報 告 事 項	な し							
欠 席 委 員	0 名							
傍 聴 者 数	0 名							
報 道 関 係 者	0 名							
会 議 録 作 成 者	教育総務課副課長 筒井 倫子							

日程1 開会の宣告

(丹宗教育長)

これより佐賀市教育委員会10月定例会を開きます。

委員の皆様には、お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。夏から秋を通り越して一気に冬にならないかという勢いで気温が下がってきておりますけれども、子どもたちはやはり気温が下がって、学校生活も過ごしやすくなって、元気に今日も校庭で走り回っていました。委員の皆様には、学校訪問等も都合のつく範囲でご出席いただきありがとうございます。いろいろとご意見をいただければ大変ありがたいと思っております。

それでは、委員会に入ります。

本日は、6人中6人の委員が出席しておりますので、適法に委員会が成立しております。

ここで会議の非公開と日程についてお諮りします。

本日の提出議案は2件ございますが、そのうち第20号議案『令和7年度「佐賀市教育委員会感謝状」被贈呈者について』は、会議を公開することにより、率直な意見の交換もしくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがあるため、佐賀市教育委員会会議規則第13条に基づき、非公開とさせていただきます。

さらに、非公開とした第20号議案の審議を日程5の「その他」の後とし、公開事項を先にご審議いただきたいと思っております。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

日程2 会議録の承認

(丹宗教育長)

それでは、日程2、会議録の承認です。事務局より会議録の報告を求めます。

(筒井教育総務課副課長兼総務係長)

9月24日の定例教育委員会の会議録は、先日、皆様にお送りしたとおりでございます。よろしくお願いたします。

(丹宗教育長)

報告は終わりました。報告内容に質疑はございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議がないようですので、会議録は報告のとおり承認いたします。

日程3 教育長報告

(丹宗教育長)

次に日程3、教育長報告をいたします。

お手元のタブレットをご覧ください。先月、そして今月の行事よりということで記載しておりますけれども、学校訪問については、私が行った分だけ載せております。

4番目をご覧ください。9月26日、早稲田大学中学生向け出前講座を川副中学校で開催しました。これは早稲田・佐賀21世紀子どもプロジェクトの一環として行っているもので、「中学生向け出前講座」という形で開催しました。早稲田大学から宮川健教授をお迎えして、「燃えよ、ドラゴン！～紙テープの秘密」というテーマで、川副中学校3年生に対して紙テープを用いた数学の探究活動を指導していただきました。これは具体

的に言いますと、紙テープをまず2つに折って、さらにそれをまた2つに折って、さらにそれを2つに折って開くと、折れ目が右に曲がったり左に曲がったりジグザグになりますけど、それを実際に開かないでも左側から右、左、左、右と、いわゆる論理的に考えて、それが出せるようになるのではないかという話です。それで、最初は紙を折ってやっていたのですが、中には、40分の2コマのうちに、その規則性に気づいて、きちんと答えまでたどり着いた子どももいました。なかなか日常の中ではあまり触れることのない内容ではありますが、論理的に考えて、その結論を導くという体験は子どもたちにとっては新鮮な学びの場だったのではないかなと感じました。

次は、10番、10月14日、佐賀市歯科医療行政懇話会ということで、今年が第2回目となりましたが、佐賀市歯科医師会と佐賀県歯科衛生士会、市長部局からは保健福祉部、そして子ども未来部、並びに教育部の代表が一堂に会して、歯科医療の今日的課題について意見を交換しました。事前にテーマが幾つか決まっております、学校関係では、昼食を食べた後の歯磨きについて、学校の現状はどうだろうか、そのアンケートを取りたいという話でしたので、その方向で検討しますとお答えしました。

次の11番、12番、13番は、共に九州都市教育長協議会についてです。これは九州全体の市の教育長さんの集まりです。ただし、政令指定都市は除きます。毎年、総会並びに研究大会を持ち回りでやっております、今年は福岡県の飯塚市で開催されました。来年度はこれを佐賀市で開催することが決まっておりますので、その事前準備ということで、教育総務課からも2人参加し、状況等をしっかり視察いたしました。

15日に理事会がありまして、理事会の後は、「特別支援教育の推進」、「不登校児童生徒への対応」、「外国ルーツの児童生徒の支援」などについて意見交換をしました。

16日木曜日が定期総会並びに研究大会で、午前中に開会行事等がありまして、その後、文部科学省の白水始氏から「これからの教育課程と教員の成長を見据えて教育委員会にできること」ということで、次期学習指導要領の方向性等についての説明がありました。午後は3つの分科会に分かれて研究大会がありまして、佐賀市は第3部会で発表する当番になっていましたので、私のほうから「地域全体で支えるこどもの健全育成～子どもへのまなざし運動～」ということで、現在、社会教育課が中心となって進めているまなざし運動を市全体で取り組んでいるということで報告しました。その後、「お菓子づくりと人材育成」ということで、飯塚高等学校製菓コースの先生による記念講演、並びに「教師を取り巻く環境整備について」、これは主に働き方改革についてでありましたけれども、文部科学省の高見暁子氏による行政説明がありました。

17日は文教施設視察ということで、2つのコースに分かれて視察を行いました。私はAコースのほうに参加をさせていただき、いろいろとなかなか見れないものを見せていただいたと思っております。

続いて、15番、10月23日、公益財団法人大電教育振興会から教材の贈呈をいただき、その贈呈式を行いました。大電教育振興会の山倉代表理事から兵庫小学校の松崎校長先生へ生物顕微鏡、これは通常の顕微鏡ののぞくところにモニターがついているものですね。それが1台です。それから、小中一貫校北山校、牟田校長先生に生物顕微鏡、これは通常の顕微鏡ですが、電子黒板につながると電子黒板にも出せるという、そういう顕微鏡2台と、撮影用のドローンが贈呈されました。この大電教育振興会からの教材贈呈は5年連続となります。この5年間、毎年佐賀市内の2つの学校に対して教材の贈呈をいただいているということで、感謝状を贈呈して感謝の意を表したところです。

それから、17番、10月25日に大隈重信スピーチコンテストを開催しました。これも早稲田・佐賀21世紀子どもプロジェクトの一環の行事であります。早稲田大学から石濱裕美子教授を審査委員長としてお迎えしました。事前に1次審査をしております、それを通過した中学生5名がそれぞれの思いを発表しました。それぞれに中学生らしい発表だったなと感じました。昨年までは原稿を読み上げていましたけれども、今年からは簡単なメモだけ手元に置いて原稿を読むという形ではないようにしましたので、多分子どもたちの原稿そのものも、通常の堅い文章ではなくて聞き取りやすい文

章になっていたという印象を受けました。それぞれに大隈重信の生き方から自分が学んだことをしっかり発表してくれました。長崎委員さんも審査委員としてご出席いただきました。当初は最優秀賞1名、そして優秀賞2名、入賞2名、合計5名ということで予定をしておりましたが、上位2名の差がなく、結果的には最優秀2名と、優秀賞を1名という形で決定しました。今年は原稿読みという形ではなかったのも、また新たな方向に1つ進んだかなという印象を持ちました。

私からの報告は以上です。

ただいまの報告内容について質疑はないでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑がないようですので、教育長報告を終わります。

日程4 提出議案

(丹宗教育長)

続いて日程4、提出議案です。

第19号議案『佐賀市社会教育委員の委嘱について』、事務局から説明してください。

(北御門社会教育課長)

それでは、社会教育課から説明します。資料の1ページをお願いします。第19号議案『佐賀市社会教育委員の委嘱について』です。

まず、提案理由です。社会教育委員につきましては、社会教育法第15条において、「都道府県及び市町村に社会教育委員を置くことができる。」とされており、「社会教育委員は、教育委員会が委嘱する。」と定められております。また、佐賀市社会教育委員条例第3条において、「委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が委嘱する。」と定めております。これらの規定に基づき、この案を提出するものです。

次の2ページをお願いします。委嘱をお願いする委員の名簿です。現在の社会教育委員13名の任期が10月31日までで、学校、社会教育団体からの推薦や家庭教育の向上に資する活動を行う者からの選出、公募等により、新たに13名の社会教育委員を選任しております。

具体的には、別紙議案等資料の1ページをご覧ください。こちらに社会教育委員の名簿を掲載しております。名簿の右側の列に新任、再任の別を記載しております。13名のうち、学校教育、社会教育、家庭教育及び学識経験者からの委員を12名、公募委員を1名選任しております。学校、社会教育団体、社会教育実践者、学識経験者から選任した委員12名のうち、新規の委員は2名で、4番の佐賀市青少年健全育成連合会副会長の坂田小四郎氏、8番の公益財団法人佐賀県女性と生涯学習財団 佐賀県立生涯学習センターアバンセの事業部長の重永桂子氏です。公募委員につきましては、13番の嶋津眞由美氏が再任です。9月1日号の市報とホームページにおいて募集し、2名から応募をいただきました。10月に作文及び面接における選考を行い、この方に決定しております。最後に、新委員の任期につきましては、条例第4条の「委員の任期は、2年とする。」という規定により、令和7年11月1日から令和9年10月31日までの2年間となっております。

説明は以上です。

(丹宗教育長)

ただいまの説明につきまして、何かご質問はありませんか。よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議がないようですので、第19号議案は原案のとおり承認いたします。

日程5 その他

(丹宗教育長)

次は日程5、その他です。何かありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、続いて第20号議案の審議になります。この議題は、会議冒頭で承認いただきましたとおり非公開となりますので、傍聴者は退室してください。

【非公開】

(丹宗教育長)

ここで会議の非公開を解きます。

これで10月の定例教育委員会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

終了時間 午後2時50分